

平成21年5月30日

2008年度活動報告(案)

企画委員会

1. 概括

学会誌の発行は年2回の目標を達成したが、今後もこのペースを継続したい。
 正会員・学生会員数の合計は460名から492名に増加したが、賛助会員の退会あるいは口数の減少があり、財政的には厳しくなった。
 会員有志の参加を得て議論を重ね、「学会の理念」をまとめた。
 会員サービス向上の一環として、第1回シンポジウムを開催した。今後も継続していく。
 学会情報基盤の整備は2008年度内には完了していない。

① 会員数	正会員	447名	(特別賛助会員：1社，賛助会員18社)
	学生会員	45名	
	賛助会員	26名	
	名誉会員	1名	

(平成21年4月1日現在)

2. 各委員会の活動報告

(1) 編集委員会

① 学会誌の発行

- ・ 第4巻第1号の発行，採録期間：2008年4月～9月
論文1件，記事4件を掲載した。
- ・ 第4巻第2号の発行。採録期間：2008年10月～2009年3月
論文5件，記事3件を掲載した。
(採録期間内に学会誌を発行し，その後期間内に投稿された論文・記事を追加していく。)

(2) 研究普及委員会

①第4回全国大会・研究発表大会

日時 12月12日，13日
 場所 慶応義塾大学協生館，来往舎
 テーマ 「情報システムにおける産学協生を模索して」
 参加者(参加費納入者のみ) 正会員64名，学生会員15名，非会員9名 計88名

②第1回シンポジウム

日時 7月5日
 場所 専修大学神田キャンパス
 テーマ 「情報システムのあり方」
 参加者(参加費納入者のみ) 会員53名，非会員13名 計70名

(3) メルマガ編集委員会

- ・ 毎月25日に発行している。
- ・ 学会の行事，研究会活動，他学会の協賛などの記事を定期的に，会員コラムを不定期に掲載している。
- ・ 連載は、「大学教育最前線」，「情報システムの本質に迫る」，「プロマネの現場から」，「実践知としての情報システム教育を考える」，「著作権と情報システム」を掲載している。
- ・ 情報システムの歴史，学会理念に関わるコラムなどの連載について議論している。

(4) 広報委員会

①学会の活動の紹介

- ・ Webサイトの管理運用

- ②他学会の協賛
- ③産業界との交流
- ④賛助会員の増加

・2009年1月29日に、賛助会員と理事で新年賀詞交換会を開催した。学会の大会や研究会への参加を勧めた。また、賛助会員企業のPRにつながるような企画があれば学会としても意図的に推進することを約束した。

(5) 企画委員会

- ① 学会の理念をまとめた。
- ② 研究会活動

分類	研究会名	主査/幹事
延長	情報システムのあり方を考える会*	伊藤重隆/高橋正子, 久保田光一ほか
	産業界からの論文発表を促進するための研究会*	高木義和/原潔
継続	重要インフラの ICT 依存性解析と CIIP (重要インフラ情報防護) のあり方研究会	渡辺研司/織茂昌之, 野山英郎
	情報社会における小・中・高の (数学教育を含めた広い意味の) 情報教育を考える会*	町田彰一郎/本郷健
新設	情報システム教育に有効な事例の整備に関する研究会	江島夏実/石田充利

* 3 研究会が年度末に終了した。

③情報システム学懇話会 (第2回)

日時 2008年11月11日
 講師 松平和也氏 ((株)システムフロンティア/ (株)プライド名誉会長, ISSJ 理事)
 話題 『「情報」の由来について』
 参加者 13名

(6) 総務委員会

① 総会

日時 2008年5月17日
 場所 専修大学神田キャンパス
 講演1 「ビジネス成果に繋がる情報システムをめざして」
 神谷有二氏 (サントリー株式会社 常務取締役)
 講演2 「学びにおけるヒューマン・インタラクションの意味」
 佐伯 胖氏 (東京大学名誉教授, 青山学院大学文学部教授
 青山学院大学ヒューマン・イノベーション研究センター所長)
 参加者 出席者: 45名, 委任状: 179名

② 学会の法人化

情報システム学の普及, 実践のための事業活動を促進するために, 学会の法人 (一般社団法人) 化の実現に向けて前年度に引き続き検討している。

③ 評議員会

学会の適切な運営を実現するために評議員会を設置した。
 理事会において 20名の評議員を選任し, 2009年3月14日に第1回評議員会を開催した。

④ 表彰制度

検討中

(7) 事務局

① 基盤整備委員会

学会の運営基盤, 情報基盤の整備について検討している。
 ・2009年1月に東京オフィスを開設し, 新潟オフィスから順次業務を移管している。
 所在地 〒102-0081 千代田区四番町4番13号 井上ビル4階

- ・学会 Web サイトのコンテンツ構成の再検討とレンタルサーバへの移行を検討した。
- ・法人化の具体的な形態について検討した。

(8) 選挙管理委員会

① 関連規定の改定

- ・役員選出規定，役員候補者推薦細則の改定

② 2008 年度役員選挙を実施

- ・役員選挙公示の予告（2009 年 1 月 30 日メルマガ）
- ・「役員選挙のご案内と役員候補者推薦のお願い」公示（2 月 2 日）
改選対象定員：会長 1 名，理事 8 名，監事 2 名
- ・役員候補者推薦届の内容確認と受理後に審査，結果を理事会で報告し，審議の結果，承認された。（2 月 21 日）
- ・2009 年度役員改選選挙結果の公示（3 月 2 日）
会長，監事は，推薦数が改選定員と同じ，理事は推薦数が改選定員に満たなかったため，投票を実施しなかった。
結果として，会長 1 名，理事 6 名，監事 2 名が選出された。

③ 関連規定の改定案を検討中

(9) 人材育成委員会

① 主な活動内容

- ・総会及びシンポジウムなどで委員会報告書を配布。意見聴取
- ・有識者を交えて，今後の情報システム分野における人材育成について議論
- ・最新の大学教育，プログラムなどを調査

② 第 2 回シンポジウムの企画（7 月に開催予定）

③ 2008 年度で一応活動を終了し，新しい調査研究委員会に引き継ぐ。

(10) 社会保険庁年金問題検討プロジェクト

メルマガ，研究会で活動内容の紹介を行ったが，未だ公表できる結論に至っていない。
2009 年度も引き続きチーム活動を行う。

以上

2008年度決算報告

I 収支報告書(2008年4月1日～2009年3月31日)

(単位:円)

(収入の部)	予算	決算	差異	備考
会費収入計	¥4,210,000	¥3,616,000	¥594,000	
正会員	¥1,400,000	¥1,328,000	¥72,000	332名
学生会員	¥60,000	¥38,000	¥22,000	19名
賛助会員	¥750,000	¥750,000	¥0	15社
特別賛助会員	¥2,000,000	¥1,500,000	¥500,000	3社
事業収入計	¥100,000	¥20,000	¥80,000	
講演会・セミナー参加費	¥100,000	¥20,000	¥80,000	
寄付金		¥200,000	¥-200,000	研究発表大会協賛
雑収入		¥12,929	¥-12,929	預金利息等
収入の部合計	¥4,310,000	¥3,848,929	¥461,071	

(単位:円)

(支出の部)	予算	決算	差異	備考
研究普及委員会計	¥1,130,000	¥1,124,310	¥5,690	
研究発表大会補助	¥500,000	¥644,428	¥-144,428	会場費、講師謝礼、アルバイト人件費等
シンポジウム	¥260,000	¥304,007	¥-44,007	講師謝礼、アルバイト人件費、予講集等
研究会共催セミナー	¥100,000	¥0	¥100,000	
研究普及委員会・事務補助等	¥100,000	¥0	¥100,000	
研究普及委員会・印刷費	¥170,000	¥175,875	¥-5,875	研究発表大会報告書印刷
総務委員会計	¥1,600,000	¥744,460	¥855,540	
総会開催費	¥300,000	¥159,183	¥140,817	専修大学からの補助を含む、講師謝礼等
総務委員会・事務補助等	¥100,000	¥111,443	¥-11,443	アルバイト人件費、消耗品、コピー費等
理事会旅費	¥200,000	¥0	¥200,000	
基盤整備費	¥1,000,000	¥473,834	¥526,166	レンタルサーバ、事務所費、ドメイン登録費
編集委員会計	¥210,000	¥88,200	¥121,800	
学会誌編集補助	¥70,000	¥88,200	¥-18,200	テープ起こし
サーバ保守	¥120,000	¥0	¥120,000	
会議室借用料ほか	¥20,000	¥0	¥20,000	
企画・メルマガ編集委員会計	¥450,000	¥384,196	¥65,804	
研究会補助	¥300,000	¥250,000	¥50,000	5研究会
メルマガ編集補助	¥120,000	¥120,000	¥0	編集補助人件費
懇話会	¥30,000	¥14,196	¥15,804	資料コピー費
広報委員会計	¥120,000	¥50,000	¥70,000	
WEBサイト運営補助	¥120,000	¥50,000	¥70,000	アルバイト人件費
人材育成委員会計	¥200,000	¥0	¥200,000	
印刷費等	¥200,000	¥0	¥200,000	
事務局計	¥480,000	¥94,370	¥385,630	
学会事務補助	¥200,000	¥57,600	¥142,400	アルバイト人件費
会議室借用料	¥50,000	¥0	¥50,000	
事務用消耗品	¥50,000	¥420	¥49,580	
通信費等	¥50,000	¥36,350	¥13,650	Web手数料、切手代等
事務局・印刷費	¥130,000	¥0	¥130,000	
電子投票システム開発	¥200,000	¥0	¥200,000	
予備費	¥500,000	¥128,436	¥371,564	賀詞交換会
支出の部合計	¥4,890,000	¥2,613,972	¥2,276,028	

今年度収支	¥-580,000	¥1,234,957	¥-1,814,957
-------	-----------	------------	-------------

前年度繰越	¥7,077,419	¥7,077,419	
今年度収支	¥-580,000	¥1,234,957	¥-1,814,957
次年度繰越	¥6,497,419	¥8,312,376	¥-1,814,957

II 貸借対照表(2009年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部	金額
現金	¥80,262
預金	¥8,232,114
資産合計	¥8,312,376


負債の部	金額
借入金	¥0
正味財産の部	金額
正味財産	¥8,312,376
負債及び正味財産合計	¥8,312,376


平成20年度監事監査報告書

平成21年5月30日

情報システム学会
会長 北城 恪太郎 殿

情報システム学会

監事 芳賀 正憲 

監事 小林 義人 

監査報告書

平成20年度事業報告書、収支決算書、および貸借対照表等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令および定款に照らして正当であることを認めます。

以上

平成21年5月30日

2009年度活動計画(案)

企画委員会

1. 基本方針

- ・学会の法人化を実現するための準備を行い、定款の改定案を来年度総会に付議する。
- ・会員サービス（賛助会員も含む）の充実を図る。特に、若手会員の加入を促したい。
- ・社会への提言の活性化を図る。
- ・社会経済状況に鑑み、運営費用の削減に努める。
- ・今年度中に学会の情報基盤を再構築し、運営基盤を固める。

2. 各委員会の活動計画

(1) 編集委員会

① 学会誌の発行

- ・第5巻第1号を発行する。採録期間は2009年4月～9月を予定。
- ・第5巻第2号を発行する。採録期間は2009年10月～2010年3月を予定。

(2) 研究普及委員会

① 全国大会・研究発表大会

- ・日時 12月6日（日）
- ・場所 青山学院大学青山キャンパス ガウチャーメモリアルホール
- ・テーマ 未定

② 第2回シンポジウムを開催予定

- ・日時 7月11日（土）13時～17時30分
- ・場所 慶応義塾大学日吉キャンパス来往舎
- ・テーマ 「情報システム人材の育成－感性と論理の新たな対話を求めて－」

(3) メルマガ編集委員会

- ・メルマガを毎月発行する。
- ・連載記事、会員コラムの充実により、会員サービスを向上させたい。

(4) 広報委員会

- ① 賛助会員の増加 新規会員を3社獲得する（目標）。
- ② 新年賀詞交換会 賛助会員同士の交流への貢献を目指して、本年度も実施する予定。

(5) 企画委員会

① 研究会

2009年度は、5件の研究会がある。

分類	研究会名	主査/幹事
延長	重要インフラのICT依存性解析とCIIP（重要インフラ情報防護）のあり方研究会	渡辺研司/織茂昌之、野山英郎
継続	情報システム教育に有効な事例の整備に関する研究会	江島夏実/石田充利
新設	IS教材の有効活用のための研究会	池辺正典/中鉢欣秀
	情報システム論文の作成を支援する研究会	松永賢次/原潔
	情報システムのあり方と人間活動研究会	伊藤重隆/芳賀正憲他

② 情報システム学懇話会

- ・第3回懇話会 2009年6月11日に開催予定
- 発表者 松本秀之氏 野村総合研究所金融フロンティア事業本部金融先端ビジネス企画部
- テーマ 「欧州における情報システム学の研究事情とその背景」

- ・第4回は2009年11月頃に開催の予定。
- ③社会への提言
- ・継続的に提言を行える体制，方法論を検討し，試行する。
- (6) 総務委員会
- ・学会の法人化を実現するための準備を行い，定款の改定案を来年度総会に諮る。承認されれば、2010年度に法人に移行する。
 - ・表彰制度のうち実現可能なものから年度内に実施する。
- (7) 事務局
- ① 基盤整備委員会
- ・新潟オフィス（新潟国際情報大学）および個人に分散されている総務委員会と事務局機能を集約し，2009年度内に学会事務局機能を東京オフィスに集中させる。
 - ・学会 Web サイトのリニューアルを完了する。
 - ・メールリングリストサーバ，メルマガサーバの立ち上げ・運用を開始する。
- (8) 選挙管理委員会
- ① 選挙関連規定の改定
- 別議案を参照。
- ② 2010年度役員選出選挙の実施
- (9) 社会保険庁年金問題検討プロジェクト
- 社会的問題を引き起こす情報システムについて、意見提起することは学会の義務であると考え、2009年度も引き続き活動を行う。会員から新たな検討メンバを募り，現メンバとの協働によって提言の取りまとめに取り組む。
- (10) 「新情報システム学体系」調査研究委員会の発足
- 人間中心の理念にそった新しい情報システム学の体系を確立，社会に発信し，市民や産業界の情報システムに対する意識改革を促すとともに，大学のカリキュラムや高校の教科「情報」の改善を図る。

以上

2009年度予算案 (平成21年4月1日)

第5回総会資料#5-2b
情報システム学会

収入の部	予算	備考	前年実績
会費収入計	3,400,000		3,616,000
正会員	1,600,000	4000円×400名	1,328,000
学生会員	100,000	2000円×50名	38,000
賛助会員	1,200,000	24社	750,000
特別賛助会員	500,000	1社	1,500,000
事業収入計	100,000		20,000
講演会・セミナー等参加費	100,000	2000円×50名	20,000
収入の部合計	3,500,000		3,636,000

支出の部	予算	備考	前年実績
研究普及委員会	700,000		924,310
研究発表大会補助	450,000	会場費、備品等	444,428
シンポジウム	250,000	会場費、講師謝礼、備品等	304,007
研究会共催セミナー	0	講師謝礼等	0
事務補助等	0	アルバイト人件費	0
印刷費	0	研究発表大会報告書印刷	175,875
総務委員会	1,890,000		744,460
総会開催費	200,000	会場費、講師謝礼、備品等	159,183
事務補助等	100,000	アルバイト人件費等	111,443
理事会・評議員会旅費	150,000		0
基盤整備費	1,440,000	法人化申請、事務所費、サーバ整備	473,834
編集委員会	210,000		88,200
学会誌編集補助	110,000	編集補助人件費	88,200
会議室借用料等	20,000		0
保守管理等	80,000		0
企画・メルマガ編集委員会	400,000		384,196
研究会補助	250,000	50,000円×5研究会	250,000
メルマガ編集補助	120,000	編集補助者人件費	120,000
懇話会	30,000	会場費等	14,196
広報委員会	50,000		50,000
WEBサイト運営補助	50,000	アルバイト人件費	50,000
情報システム学体系研究委員会	100,000		0
印刷費、講師謝礼等	100,000	報告書印刷、講師謝礼	0
事務局	100,000		94,370
学会事務補助	50,000	アルバイト人件費	57,600
事務用備品消耗品	10,000		420
通信費等	40,000	通信費、銀行手数料等	36,350
印刷費	0	小冊子等印刷	0
電子投票システム運営	50,000		0
予備費	500,000		128,436
支出の部合計	4,000,000		2,413,972

前年度繰越	8,312,376
今年度収支	-500,000
次年度繰越	7,812,376

2009 年度定款改定(案)

下線部分が改定する箇所です。

1. 総 則

第 1 条 名称

本会は情報システム学会と称する。

第 2 条 目的

本会は、ひろく情報システムに関わる会員が、人間の尊厳と個性を尊重する情報システム学を追及するとともに、産業界、学会、行政などの内外関係機関と協調して、現実の問題解決に実践的に寄与することを目的とする。

第 3 条 事業

1) 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 総会、研究発表大会および研究会の開催
- (2) 学会誌等の発行
- (3) 講演会の開催
- (4) その他必要な事業

2) 前項の学会誌等発行に関する投稿規定および執筆要項については別途定める

2. から 6. 改訂しない(略)

7. 名誉会長

第 21 条 名誉会長

- 1) 本会に名誉会長1名をおくことができる。
- 2) 名誉会長は、会長の任にあつて本会の発展に尽くした者で、理事会で承認された個人。
- 3) 名誉会長は、本会の運営に関して会長の諮問に答える。
- 4) 名誉会長の任期は2年とし、重任を妨げない。

8. 雑 則

第 22 条 事務所

本会は、事務所を東京都千代田区に置く。

9.改 廃

第23条 改廃

本定款の改廃は、総会の議を経なければならない。

附 則

- 1 本定款は、2005 年 4 月 23 日より施行する。
- 2 本定款は、2007 年 5 月 19 日より施行する。
- 3 本定款は、2008 年 5 月 17 日より施行する。
- 4 本定款は、2009 年 5 月 30 日より施行する。

情報システム学会の理念(案)

情報システムは、社会、組織体または個人の活動を支える適切な情報を、収集し、加工し、伝達するための、人間活動を含む社会的な仕組みである。社会、組織体及び個人の対処すべき課題を解決するためには、情報システムの活用が不可欠であり、より安心して利用できる情報システムが望まれている。情報社会が健全な発展を遂げるためには、情報システムを担う有為な人材を育成し、利用者にとって真に有用で信頼できる情報システムを構築し、活用していくことが必要である。

以上の認識のもとに、われわれは、情報システムの概念的枠組み、学問としての方法論の体系、あるいは社会的な影響などを広範囲にわたって考察することを通して情報システム学を確立し、その成果を社会に発信していく。そのために、様々な分野の研究者、実務家、経営者、利用者、一般市民及び行政といった人々に参加を呼びかけ、さらには相互間の連携を図っていく。

われわれは、このような取組みが真に人間中心の情報社会を実現することに貢献するものと信ずる。

Mission Statement of the Information Systems Society of Japan

Information systems (IS) are social mechanisms, including human activities, that collect, process, and transmit relevant information to support activities of societies, organizations or individuals. As it is essential for them to deal with IS to solve their problems, they desire to use more secure IS. It is necessary to foster valuable human resources bearing IS, to build IS that are truly reliable and useful for users, so that our information society may accomplish wholesome development.

In recognition of the above-mentioned, we establish the information systems discipline through consideration ranging widely over the conceptual framework, the body of methodology, and social influences, etc. of IS and disseminate our research results to societies. We invite people such as researchers from various fields, specialists, managers, users, citizens, and administrative bodies to join our society, and, furthermore, promote closer cooperation among them.

We believe our contribution will help to realize the truly human-oriented information society because of our efforts.

役員選出規定(案)

1. 役員を選出方法

1 第1条

「定款」第12条に規定する役員を選出は、次の各項による。尚、各項における選挙は本規定第2条以下に基づくものとする。

- (1) 会長は、選挙によって選出する。
- (2) 副会長は、次項に基づいて新たに選出された理事と、任期途中の理事を合わせたすべての理事の互選によって選出する。
- (3) 新たに選出する理事は、選挙によって選出するか、または賛助会員及び特別賛助会員に関する規定に基づく互選によって選出する。
- (4) 監事は選挙によって選出する。

2. 選挙権および被選挙権

第2条

本会正会員であって、当年度の選挙管理委員会が組織される月末時点で当年度までの会費全額を納入し、かつ過去2会計年度に会費の滞納が無い者は役員選出選挙権と役員選出のための被選挙権を有する。ただし、既に2期重任しつある理事及び監事は、「定款」第16条によって、該当する役職の被選挙権を有しない。また、選挙管理委員は、「役員候補者推薦細則」に定める通り、役員選出のための被選挙権を有しない。

3. 選挙管理

第3条

役員選出のための選挙は、推薦を受けた候補者に対して実施される。候補者の推薦方法は「役員候補者推薦細則」に定める。

第4条

会長は、理事会の議を経て選挙管理委員を委嘱し、選挙管理委員会を組織する。

第5条

選挙管理委員会は、選挙管理業務を担当する。
選挙管理業務の詳細は、「選挙管理細則」に定める。

4. 改廃

第6条

本規定の改廃は、総会の議を経なければならない。

[付則]

本規定は、2007年5月19日より施行する。
本規定は、2008年5月17日より施行する。
本規定は、2009年5月30日より施行する。

以上

役員選挙結果について

選挙管理委員会

2009年5月30日

役員選挙結果についてご報告申し上げます。

- 1 役員選挙実施については、2009年2月2日に、
「役員選挙のご案内と役員候補者推薦のお願い」（別紙1）を公示し手続きを開始いたしました。
今回選挙での選出対象役員とその人数については、別紙1をご参照ください。
- 2 役員選挙結果については、2009年3月2日に
「役員選挙に関するご案内」（別紙2）を公示しご案内いたしました。
役員候補者は、理事会推薦者のみ、又、候補者数が役員改選数と同数、又は、未満であったので無投票当選とする旨が、理事会で審議、承認されました。
- 3 今回役員選挙当選者
会長 竹並 輝之氏
理事 飯島 正氏
岩崎 慎一氏
柏木 直哉氏
松永 賢次氏
山口 高平氏
渡邊 慶和氏
監事 田沼 浩
松平 和也

以上

役員選挙のご案内と役員候補者推薦のお願い

選挙管理委員会

2009年02月02日

本年度役員選挙は次のスケジュールに従って実施されます。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| i) 役員候補者の推薦受付 | 02月02日(月)～02月13日(金) |
| ii) 役員候補者一覧表の公示 | 03月02日(月) |
| iii) 電子投票のためのIDとパスワードの送付 | 03月12日(木) |
| iv) 電子投票の実施 | 03月16日(月)～03月25日(水) |
| v) 投票結果の公示 | 03月30日(月) |

※上記日程以外に、電子投票システムの公開テストを予定しております。

その期間は別途お知らせしますが、御協力をお願いいたします。

以下は上記スケジュールの「i) 役員候補者の推薦」に対応するものです。

(1) 今回選出対象役員とその人数

(定款第12条、同第15条及び役員選出規定第1条による)

- ・会長 1名
- ・理事 8名
- ・監事 2名

(2) 推薦届の記載事項

- i) 候補者の氏名
- ii) 1名以上の推薦人の氏名(一般会員による推薦の場合)、または理事会の決議(理事会推薦の場合)
- iii) 候補者の経歴(必須)
- iv) 候補者を推薦する理由(任意)

(3) 推薦届提出先と提出期限

- ・推薦届提出先: 選挙管理委員会
- ・提出先メールアドレス: issj-elec-recommend@ae.keio.ac.jp
- ・提出期限: 02月13日(金)

(4) 推薦人は、推薦届の内容について候補者による事前確認を必要とする。

今回の役員選挙に直接関連する規定については、以下をご参照下さい。

- ・ 選挙人と被選挙人の資格→役員選出規定第2条及び第3条
- ・ 候補者の推薦に関する規定→役員候補者推薦細則第1条、第2条及び第3条

尚、役員選挙に関する問い合わせは次のメールアドレス宛にお願いします

役員選挙問い合わせ先メールアドレス: issj-elec-contact@ae.keio.ac.jp

推薦届記載例1:昨年度選出理事(重任) 添付略

推薦届記載例2:昨年度選出理事(新任) 添付略

以上

役員選挙に関するご案内

選挙管理委員会
2009/03/02

I) ご案内の概要

先に、本年度役員選挙につきまして、次のスケジュールをご案内いたしました。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| i) 役員候補者の推薦受付 | 02/02(月)～02/13(金) |
| ii) 役員候補者一覧表の公示 | 03/02(月) |
| iii) 電子投票のための ID とパスワードの送付 | 03/12(木) |
| iv) 電子投票の実施 | 03/16(月)～03/25(水) |
| v) 投票結果の公示 | 03/30(月) |

今回は上記 ii に従って、まず役員候補者の一覧表を公示いたします。

これと同時に、推薦を受けた役員候補者の数が今回の改選定員枠を超えなかったため、これ以降に予定されていた行事(上記の iii、iv、v)が中止され、これをもって今年度の役員選挙が集結したことをご案内致します。

II) 役員候補者の一覧

今回指定された期間中に、推薦届が選挙管理委員会で受理された役員候補者は、次の 9 名の方です。各候補者の推薦人、経歴、推薦理由は「本御案内 2～10 枚目」をご参照下さい。

会長	竹並 輝之
理事	飯島 正
	岩崎 慎一
	柏木 直哉
	松永 賢次
	山口 高平
	渡邊 慶和
監事	田沼 浩
	松平 和也

III) 無投票当選

今回の役員改選の定員枠は、前回の公示でご案内致しましたとおり、会長 1名、理事 8名、監事 2名です。

さらに、

「会長 1名、理事 6名、監事 2名を今回の選挙の当選者とする」

という案件が審議され、去る 2月21日に開催された第45回理事会で審議され承認されました。

IV) 選挙の終結

以上を持ちまして本年度の役員選挙は終結致します。

以上

情報システム学会 2009 年度役員等名簿(案)

下線は新任

*印は賛助会員からの選出理事

[名誉会員]

浦 昭二

慶應義塾大学名誉教授 新潟国際情報大学名誉教授

[名誉会長]

北城 恪太郎 新任

日本アイ・ビー・エム(株) 最高顧問
(社)経済同友会 終身幹事

[会長]

竹並 輝之 新任

新潟国際情報大学 教授

[副会長] (五十音順)

杉野 隆

国士舘大学 教授

[理事] (五十音順)

伊藤 重隆

みずほ情報総研(株) 品質管理部部長

飯島 正 新任

慶應義塾大学 専任講師

乾 昌弘 *

(株)オーグス総研 技術部部長補佐

岩崎 慎一 新任

(株)朝日ネット システム部 主任研究員

柿澤晋一郎 新任*

三和コムテック株式会社

柏木 直哉 新任

日本ユニシス(株) 取締役

金井 一成

金井ビル(株)代表取締役

杉野 隆

国士舘大学教授

高木 義和

新潟国際情報大学教授

松永 賢次 新任

専修大学ネットワーク情報学部 准教授

山口 高平 重任

慶應義塾大学 教授

山本 喜一

慶應義塾大学 教授

渡邊 慶和 新任

岩手県立大学 教授

[第5回全国大会・研究発表大会専任理事]

宮川 裕之 新任

青山学院大学 教授

[監事]

田沼 浩 新任

田沼司法書士事務所 所長

松平 和也 新任

(株)システムフロンティア 名誉会長

以上

退任理事 (飯島理事、岩崎理事、柏木理事および松平理事は前理事を退任)

魚田 勝臣 神沼 靖子 砂田 薫 中嶋 聞多

退任監事

小林 義人 芳賀 正憲

[評議員会議長]

上野 南海雄

元情報システム学会副会長 ジャパンシステム(株) 常勤監査役

✍

2009年度 組織構成 担当役員等（案）

下線は新任を示す

編集委員会	学会誌編集
担当理事	<u>山口理事（委員長）</u>
メルマガ編集委員会	メルマガ編集
担当理事	<u>岩崎理事（委員長）</u>
研究普及委員会	シンポジウム・セミナーなどの企画，研究発表大会
担当理事	<u>柏木理事（委員長）、金井理事（副委員長）</u>
総務委員会	予算管理、人事、理事会・評議員会の運営、総会、日程管理、 渉外（他学会、紛争）
担当理事	<u>金井理事（委員長）、松永理事（副委員長）</u>
企画委員会	中長期事業計画，ロードマップ，懇話会，研究会管理
担当理事	杉野理事（委員長）、伊藤理事（副委員長）
広報委員会	Web ページの企画，広報活動、他への連携依頼，社会との 連携，賛助会員
担当理事	<u>柿澤理事（委員長）</u>
基盤整備委員会	Web サーバの統一と移行、学会オフィスの移設、 <u>法人化</u>
担当理事	<u>飯島理事（委員長）</u>
<u>「新 I S 学体系」調査研究委員会</u>	
<u>人間中心の理念にそった新しい I S 学の体系を確立、社会に発信する</u>	
担当理事	<u>杉野理事（委員長）、伊藤理事（副委員長）、乾理事（副委員長）</u>
事務局	会計管理，財務管理，会員管理，事務管理，文書管理、 Web サーバの運営
事務局	<u>魚田 勝臣（事務局長）</u>

以上

第2回情報システム学会シンポジウム

日時：平成21年7月11日(土) 13時～19時30分(懇親会含む)

「情報システム人材の育成—感性と論理の新たな対話を求めて」

場所：慶応大学日吉(来往舎) <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html>

(協賛) 情報処理学会 情報システム教育委員会, ソフトウェア工学研究会

『重要なテーマの一つである人材育成について、皆様とともに議論をして方向性を見つけていきたいと思えます。会員の皆様はもちろん、会員でない方も是非奮ってご参加ください。』

1. 基調講演 (13時～14時)

(講演題目はテーマ名と同じ)

佐伯 胖 青山学院大学社会情報学部教授、東京大学名誉教授

『要旨』ケンブリッジ大学のサイモン・バロン=コーエン教授によると、人間の脳には、主に男性脳において優勢的な「合理的システム化」思考の機能と、女性脳において優勢的な「協調・共感」思考の機能の二つがある。男性優位に進められた近代科学と産業組織は、論理性と経済性を焦点化する「システム化」思考のみを重視してきたが、それによって周辺の人や物、状況の変化に対応する気配りや感性の情報取得とその処理が置き去りになってきている。講演では、アフォーダンス知覚や状況論をベースとした「共感システム処理」と、論理性と経済性を追求する「合理的システム処理」の相互対話こそが重要であることを明らかにする。

2. 講演 (14時～15時)

(1) 「実践知としての情報システムを考える～問題感知力を磨き、情報を読み解くための論理的思考力とコミュニケーション力を身につける」

小林義人 エム・スクエア代表取締役(当学会・元人材育成委員会委員)

(2) 「のようなもの ～例を通じた学習の効果は?～」

江島夏実 コンピュータ教育工学研究所代表取締役(当学会・研究会主査)

3. パネルディスカッション (15時30分～17時30分)

「今後の情報システム教育の進むべき方向について」

○モデレータ：岩崎慎一 朝日ネット主任研究員(当学会理事)

○パネリスト：佐伯先生、小林氏、江島氏

終了後、懇親会：グリーンズ・マルシェ(～19時30分)

参加費	プログラム	会員	無料	非会員	¥2,000
-----	-------	----	----	-----	--------

	懇親会	会員	非会員とも		¥2,000
--	-----	----	-------	--	--------

企画・運営：情報システム学会研究普及委員会など

参加申込及びお問い合わせは、issj@nuis.ac.jp までお願いします。

